



○ 農業・果樹栽培に特化した就労継続B型事業所として、直売所の運営、農産加工品の製造・販売に取り組み工賃向上を実現。地域の農業振興及び活性化を図り、良質で安全安心な商品づくりをめざす。

基本情報

- 所在地：福井県あわら市
- 活動地域：平地農業地域
- 団体名：特定非営利活動法人ピアファーム
- 選定表彰：
 - ・ H26 第6回耕作放棄地発生防止・解消表彰事業・全国農業新聞賞（主催：（一社）全国農業会議所）
 - ・ H27 第16回ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞（主催：（公財）ヤマト福祉財団）
 - ・ H29 ディスカバー農山漁村の宝 第4回全国選定（主催：農林水産省） etc.
- 主力商品：梨、ナシジュース、ぶどう、ワイン

取組の概要

- 高齢化で担い手不足のナシ農園を引き受け、耕作放棄地も再生し、ブドウ及び野菜を栽培。現在の耕作面積は6.5haで次年度以降も拡大予定。
- 安全な農産物、環境に配慮した農業、生産者の安全と事故防止を徹底。
- 晩生梨を使った梨ジュース、醸造用ブドウでワインも製造販売実施。
- 観光農業公苑として「癒しの果樹園あわらベルジェ観光ブドウ園」を開設、4,600人の来苑者や修学旅行の生徒も受入れ。
- 市内外の農業者180戸が出荷する地産地消を推進する農産物直売所2か所の設置、地域に愛されるスーパー（お店）を展開。



ナシの栽培、収穫作業をするメンバー



観光ブドウ園で子どもたちの収穫体験



耕作放棄地の開墾作業

体制図



取組の成果

- 生食ブドウについては、22品種を栽培。年間90日以上の出荷。
- 梨とぶどうのジュースは、H28年以降、毎年約1,000本～1,500本を販売、ふるさと納税の返礼品として好評を得る
- 平均事業収入は、栽培と販売を合わせて年間7千万円程度。



6次化、ナシジュース



直売所店内で働くメンバー

所在地 ▶ 福井県あわら市波松68-87-2

連絡先 ▶ TEL：0776-79-1830 FAX：0776-79-1831 E-mail：info@peerfarm.jp

ウェブサイト ▶ <http://peerfarm.jp/>

【取組のプロセス】

新たな事業として、障がい者が生き生きと働いている農場をイメージ。

2007年～

きっかけ

地域の耕作放棄地や梨園の廃園という現状から、農業に特化した障がい者の就業の場づくりに挑戦

2008年～

果樹栽培に取り組むとともに農産物販売にも力を入れ、生産者、販売事業者との連携を築く。

農業に特化したピアファーム就労継続支援B型事業所創業

- 平成20年、農業に特化した就労継続B型事業所、ピアファーム就労継続支援B型事業所（定員20名）を創業。メンバー（利用者）の工賃向上を農産物の栽培生産と販売を通じて実現する。

2009年～

生食ぶどうは22品種、梨は12品種を栽培。

夢の果実農産物直売所営業開始

- 平成21年、坂井北部丘陵地で後継ぎのない梨園を引継ぎ、幸水、豊水、新興、新高、愛宕等12品種を栽培・販売、高品質を維持するため手作業を多く取り入れることで、障がい者の作業創出も図る。また、約160の契約個人農家・団体の農産物や加工品の販売も行い、地域に信頼される「みんな笑顔で逢いに来るお店」を目指す。
- 平成22年、ハウス2棟でぶどう栽培に着手。
- 平成23年、あわら市認定農業者の認定を受ける（北陸農政局管内(福井・石川・富山・新潟)で特定非営利活動法人初の認定）

2014年～

ピアファームと産直市場ピアファームとで農産物の生産と販売を通じて利用者の工賃向上を実現。

観光農業公苑「癒しの果樹園あわらベルジュ」開園で交流人口増

- 平成25年、生食ぶどう（シャインマスカット、ピオーネ、サニールージュ等）に加えて醸造用ぶどうの栽培にも着手。
- 平成26年、産直市場ピアファーム就労継続支援B型事業所（定員20名）の営業開始。
- 平成27年、観光ぶどう園あわらベルジュを開園（海外からも来園）。

醸造用ぶどうの定植

事業体制の承継等を準備

今後の展望

事業体制の承継等を準備し、就労支援や地域農業の振興を図る。

- 施設の整備等に取り組み、更なる利便性の向上を図る。
- 高齢者雇用にも取り組み、地域との更なる連携を図る。
- ふくい農福連携ネットワーク「のうふく実践ネットワーク」の企画交流を通じて、果樹を活用した、園芸療法の試行。

